



東淀川区役所からのお知らせ



東淀川区役所

LINE公式アカウント

お友だち募集中!



イベント情報や緊急情報などを
お届けします♪



東淀川区キャラクター
「こぶしのみのりちゃん」



東淀川区へようこそ!



東淀川区は、約17万5千人（人口は市内第3位）が暮らすベッドタウンです。交通の便がよい便利で住みやすいまちであり、聖徳太子や菅原道真のゆかりなど古い歴史があり、淀川・神崎川・安威川の自然があり、区内に2つある大学などを中心に若い活気にあふれています。

また、区内では現在、鉄道や道路などの大規模な都市基盤整備が進められており、今後、まちの様相は大きく変わっていきます。

歴史もにぎわいも変化もある、東淀川区はそんなまちです。

みなさまの東淀川区での新しい生活が素晴らしいものになりますよう、「住んでよかった、住み続けたい東淀川」実現のために、職員一同、全力で取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。



東淀川区長 北岡 均

区民の方や東淀川区に興味・関心を持っていただいた方々が、より一層、東淀川区政に興味や共感を持っていただけるようイベント情報や緊急情報などを発信します。ぜひ「お友だち登録」をお願いします♪

東淀川区役所ホームページもぜひご覧ください



また、Facebook・Twitterでも情報発信中です!!

○東淀川区役所 Facebook



○東淀川区役所

twitter



公式アカウント @kobushinominori で検索してください!

【お問い合わせ】東淀川区役所 総務課（広報・広聴相談・総合企画）
1階10番 ☎06-4809-9683

東淀川区のあらまし



明治17~23年頃の東淀川区(淀川改修前)

縄文時代、大阪平野は海の底であり、現在の東淀川区南江口・大桐あたりが淀川の河口でした。河口付近の堆積物が洲となり、芦の茂る多くの浅洲や島がある、「難波八十島」と呼ばれました。今も東中島や柴島など、「島」がついた地名が多く残ります。

しばしば洪水が発生し、住民を苦しめましたが、明治11(1878)年の神崎川付替工事・同30年代の淀川改修工事等により、流路を変え、現在の姿になりました。

大阪市は、明治30(1897)年の第1次市域拡張に続き、大正14(1925)年4月に第2次市域拡張を実施、このとき、当時の西成郡中津・豊崎・西中島・神津の各町と豊里・大道・新庄・中島・北中島の各村が大阪市域に編入され、東淀川区が誕生しました。

その後、昭和18(1943)年4月に大淀区(当時)を分離(大阪市は15区から22区制に)、昭和49(1974)年7月に淀川区を分離(大阪市は26区制に)し、現在の区域の東淀川区となりました。

東淀川区は、世帯数92,435で市内2位、人口175,530人で市内3位(いずれも平成27年度国勢調査)の規模を誇る区となり、平成27年4月に大阪市域編入90周年を迎えました。

都市基盤整備では、平成18年12月に大阪市の東部地域を南北に結ぶ「地下鉄今里筋線」が開業。現在は、淡路駅周辺において、阪急電鉄京都線・千里線の連続立体交差事業に伴い、駅だけでなく、駅前広場や道路・公園の整備などが進められています。

また、大阪外環状鉄道の整備事業(JRおおさか東線)も進められており、平成20年の南区間(放出~久宝寺)開通に続き、JR淡路駅を含む北区間(新大阪~放出)が平成31年3月16日に開業しました。



平成31年3月に開業するJR淡路駅

ますます便利に暮らしやすくなる 東淀川区の今後にご期待下さい!